

「防災意識社会」の再構築に向けた 常総市の取組

水害の教訓を活かした「防災先進都市」の実現へ



常総市の地勢

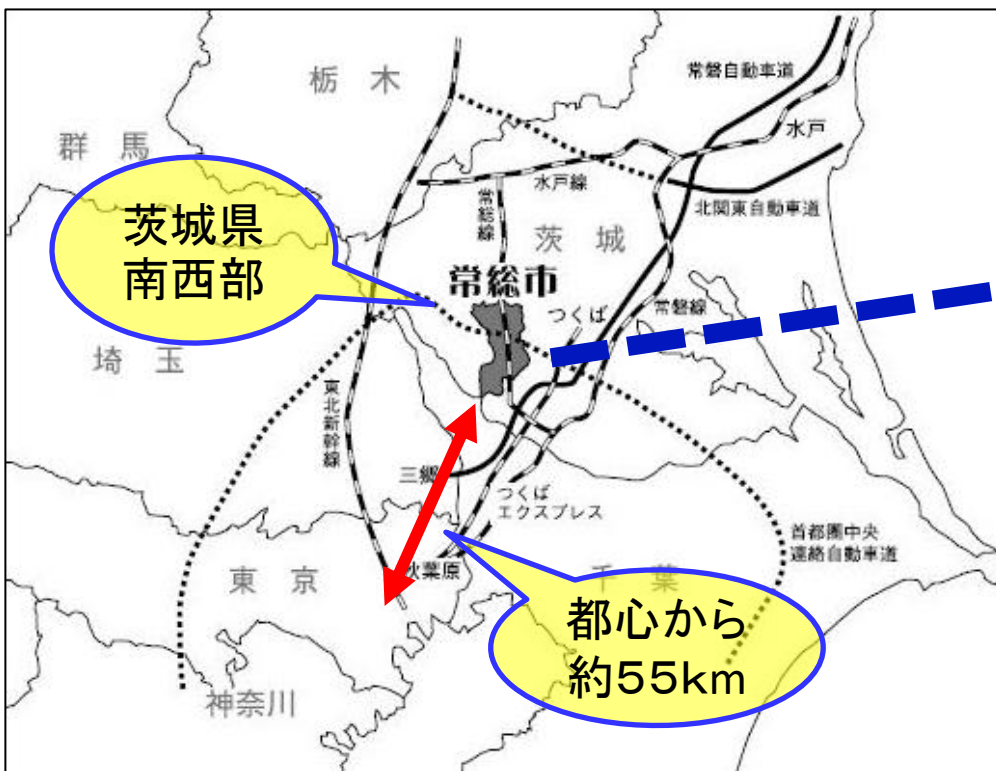
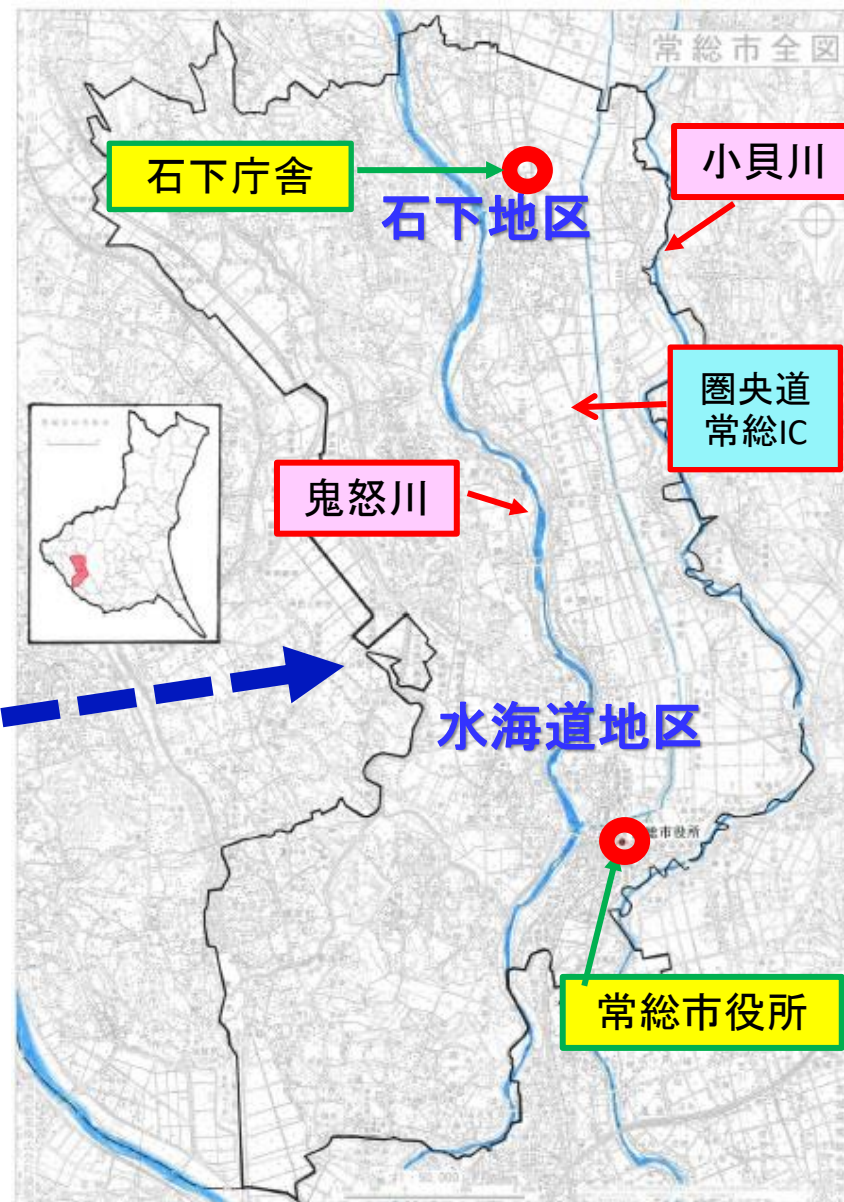
【人口】 60,265人(外国人6,821人)

【世帯】 26,216世帯(外国人4,307世帯)

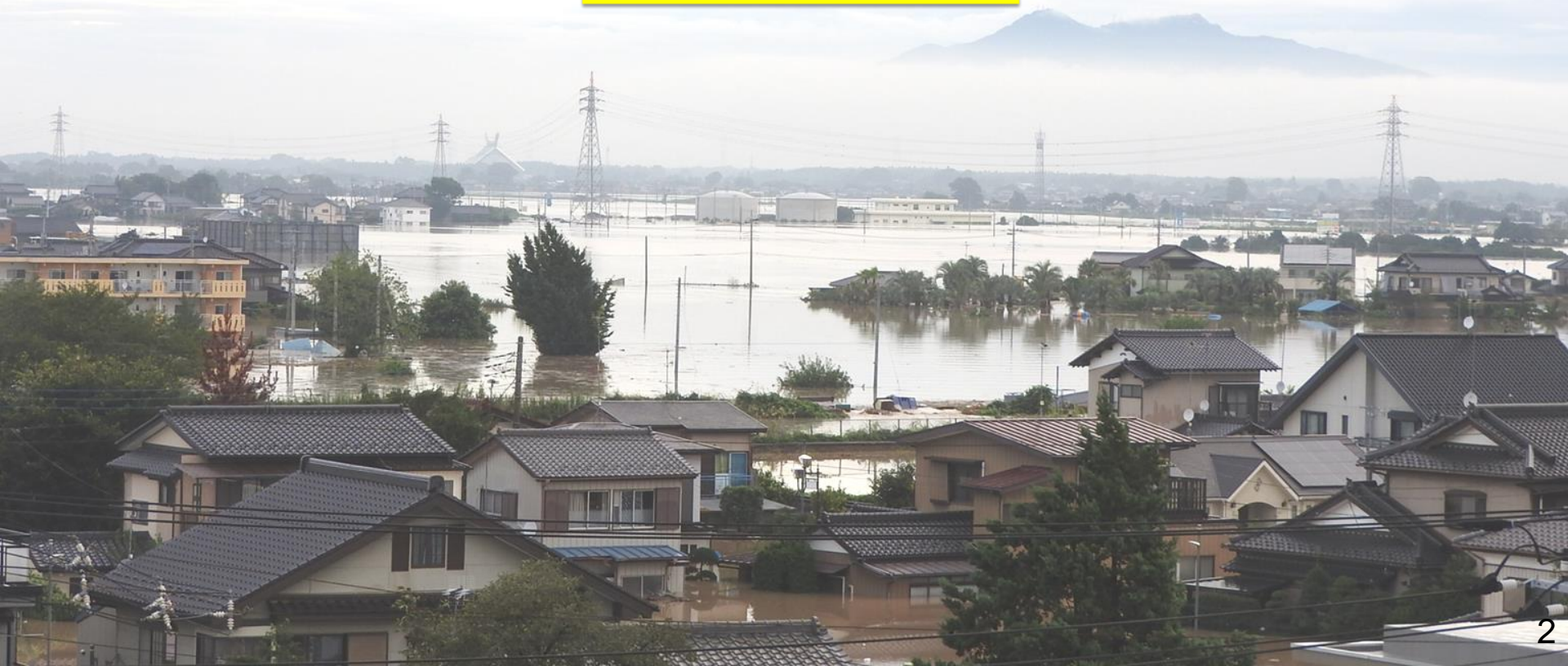
※ 令和7年.4月1日現在 住民基本台帳

【面積】 約124km²

南北 約20km、東西 約10km



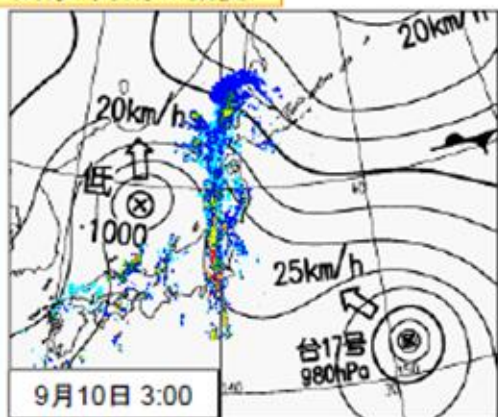
平成27年9月
関東・東北豪雨災害
(氾濫状況)



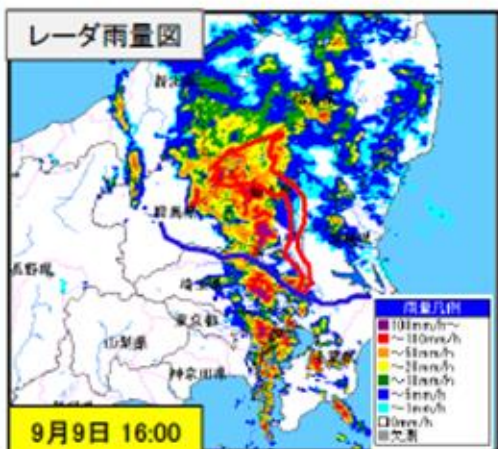
平成27年9月関東・東北豪雨 降雨の概要

台風第18号から変わった低気圧に向かって、南から湿った空気が流れ込んだ影響で、関東地方と東北地方では記録的な大雨。9月9日から10日にかけて、栃木県に**線状降水帯**が発生。日光市 五十里(いかり)では最大24時間降水量551mmを記録するなど、宮城県、栃木県を中心に、当時の観測史上1位の降水量を記録。大雨特別警報が栃木県と茨城県で発令された。

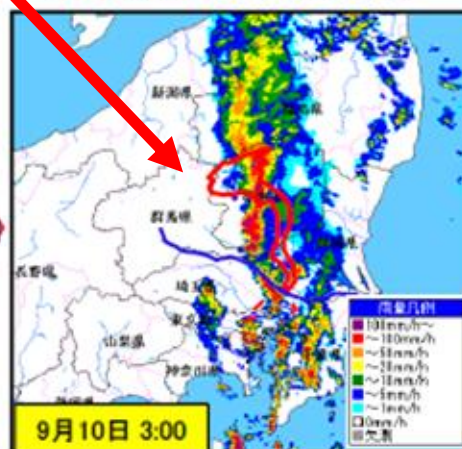
気象・降雨の概要



線状降水帯



11時間



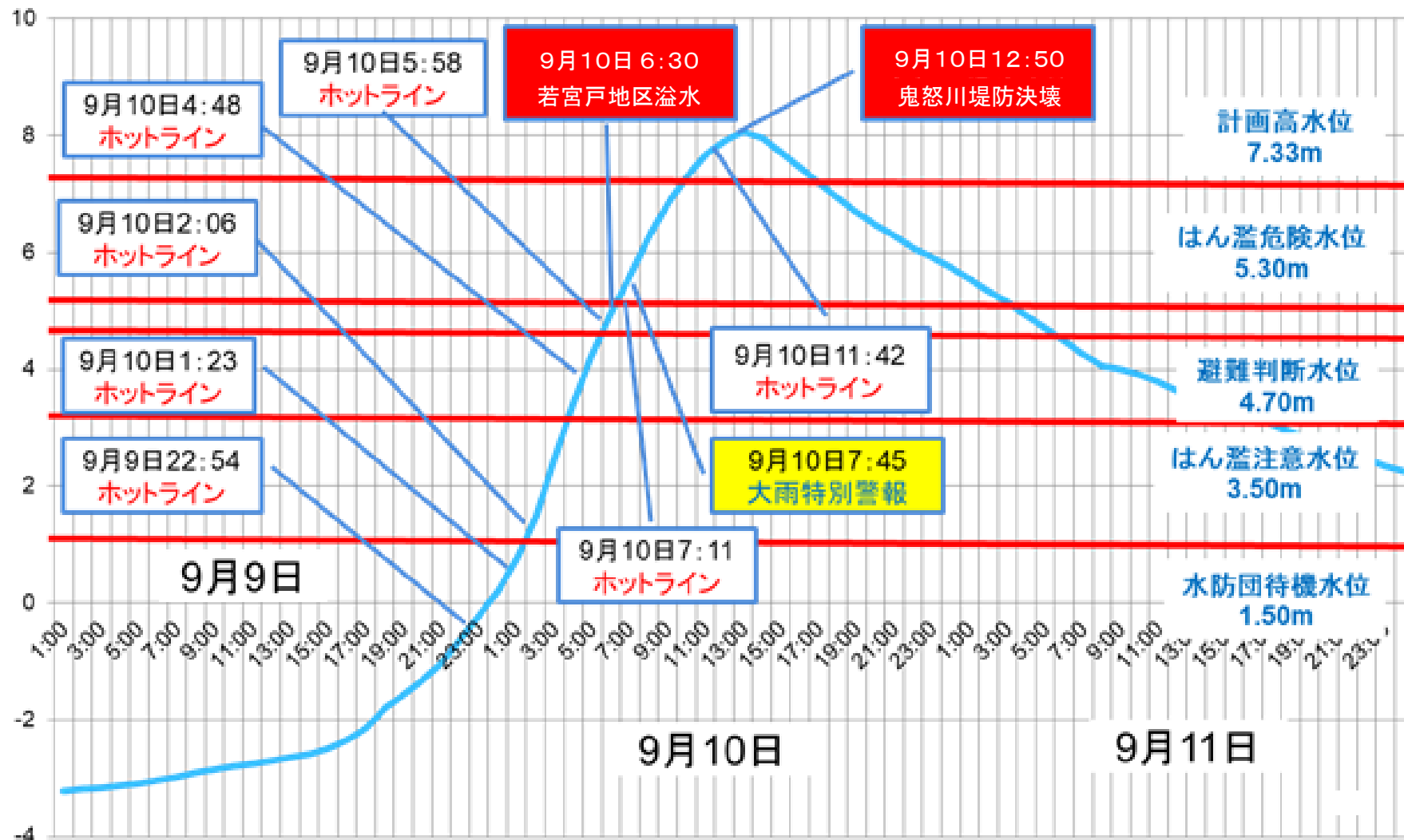
観測史上1位を更新した地点

※アメダス観測値による統計 ※最大24時間降水量

都道府県	市区町村	地点名	降水量(mm)
① 宮城県	栗原市	萬沢(万'イシ'ワ)	194.5
② 宮城県	加美郡加美町	加美(カミ)	238.0
③ 宮城県	仙台市泉区	泉ヶ岳(い'ま'た'け)	293.0
④ 宮城県	刈田郡戴王町	戴王(オウ'オウ)	180.5
⑤ 福島県	南会津郡南会津町	南郷(ナン'ゴウ)	161.5
⑥ 福島県	南会津郡南会津町	館岩(タ'ン'イ)	262.0
⑦ 茨城県	古河市	古河(コ'カ)	247.0
⑧ 栃木県	日光市	五十里(イ'カ'リ)	551.0
⑨ 栃木県	日光市	土呂部(ト'ロ'ウ)	444.0
⑩ 栃木県	日光市	今市(イ'マ'シ)	541.0
⑪ 栃木県	鹿沼市	鹿沼(カ'ノ)	444.0
⑫ 栃木県	宇都宮市	宇都宮(ウ'ツ'ミヤ)	251.5
⑬ 栃木県	佐野市	萬生(マン'セイ)	216.5
⑭ 栃木県	栃木市	栃木(ト'チ'キ)	356.5
⑮ 栃木県	小山市	小山(コ'ヤマ)	268.5
⑯ 埼玉県	越谷市	越谷(コ'サ'キ)	238.0

出典:気象庁公表資料(速報)より

「鬼怒川水海道」 観測所データ



鬼怒川の氾濫状況

平成27年9月10日 6時30分に常総市若宮戸で鬼怒川が溢水、同日12時50分に常総市三坂町で鬼怒川堤防左岸が約200mにわたって決壊し、市の1/3(約40 km²)が浸水。



上空からの浸水状況



筑波山

市街地

鬼怒川

小貝川

平成27年9月
関東・東北豪雨災害
(被害状況)



浸水状況 (H28.9.11撮影)

庁舎駐車場



庁舎非常用電源設備↓



庁舎1階



避難所となった庁舎2階

自衛隊車両

人的被害・住家被害の状況

人的被害 (現時点)

死亡※	重症	中等症	軽傷	行方不明
15人	3人	21人	20人	0人

※災害関連死を含む

住家被害[認定] (H29.9月時点)

※罹災証明書発行内訳数

全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水	床下浸水	合計
53件	1,566件	3,265件	122件	1,117件	6,123件



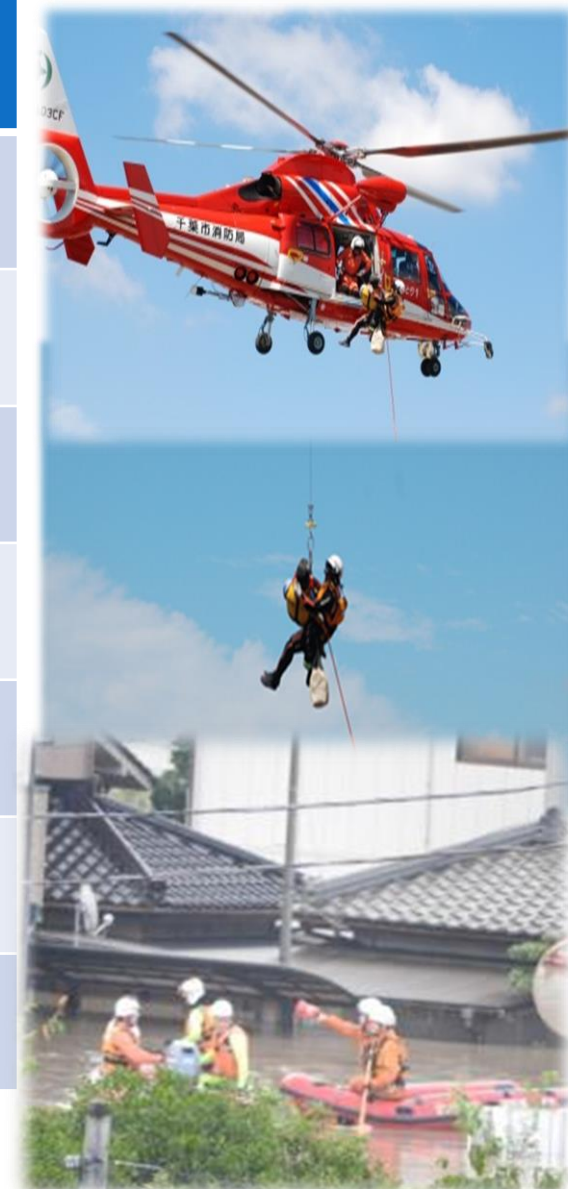
決壊現場(提供:国土交通省関東地方整備局)堤防



決壊現場付近(常総市撮影)

救助者数の状況

機関名	救助種別	
	ヘリコプター	地上部隊
自衛隊	723人	1,292人
海上保安庁	99人	—
警察	209人	193人
消防本部	308人	1,434人
計	1,339人	2,919人
合計	4,258人	



救助の様子(常総市撮影)

避難者、ライフラインの状況

ピーク時の避難者数 (H27.9.11時点)

	避難所数	人数
市内	26カ所	4,501人
市外	13カ所	1,722人
合計	39カ所	6,223人

3割弱



避難所の様子(常総市撮影)

ライフライン

種別	状況(件数等)	復旧状況	
電気	停電(約11,200世帯)	H27.10.26 完全復旧	1ヶ月半後
水道	石下東部浄水場(約4,400軒断水) 相野谷浄水場(約7,400軒断水)	H27. 9.21 仮復旧	10日後 (ポンプ稼働2週間後)
電話	NTT光回線(約5,000回線不通)	H27. 9.17 通信障害回復	1週間後
道路	国道294・354号線及び 主要幹線道路(通行止め)	H27.12.18 片側通行可 H28. 2. 8 全面通行可	3ヶ月後 半年後
鉄道	関東鉄道 常総線(全線運休)	H27.10.10 全線運転再開 H27.11.16 通常ダイヤ復旧	1ヶ月後 2ヶ月後

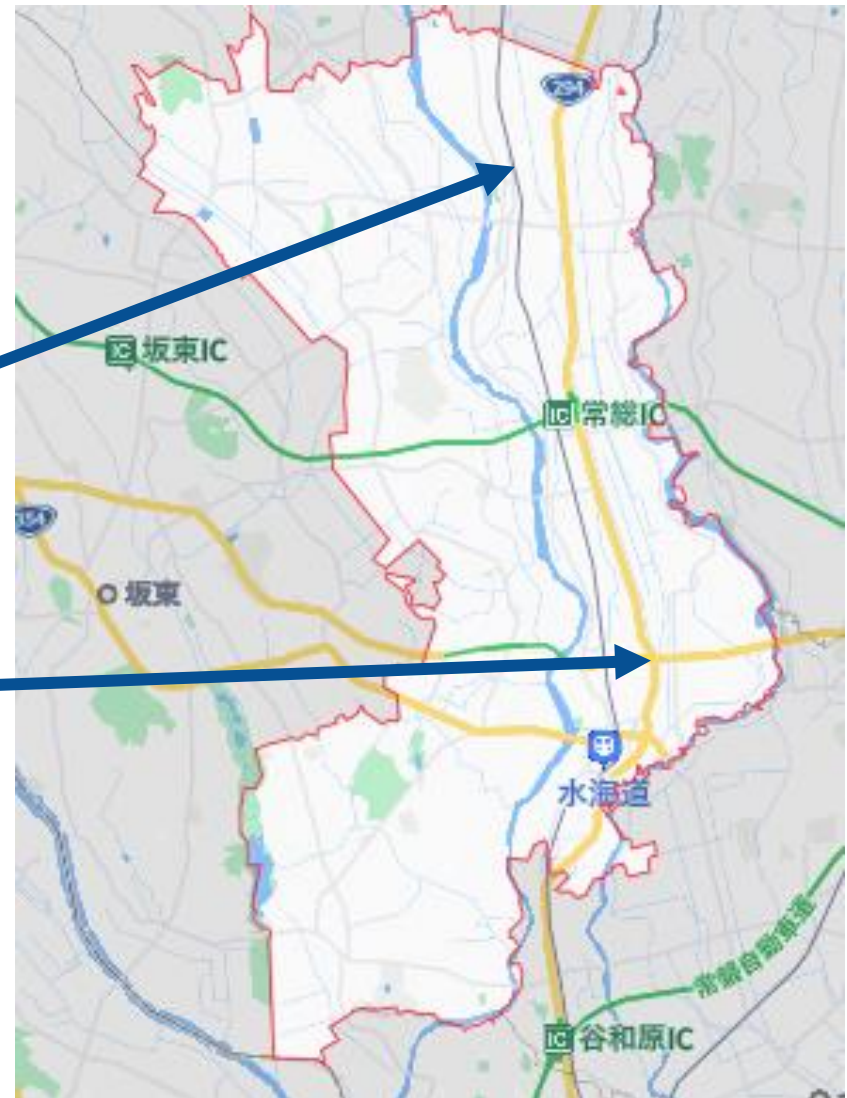
広域避難の状況



【常総市内浄水場】

石下東部浄水場
(4400軒断水)

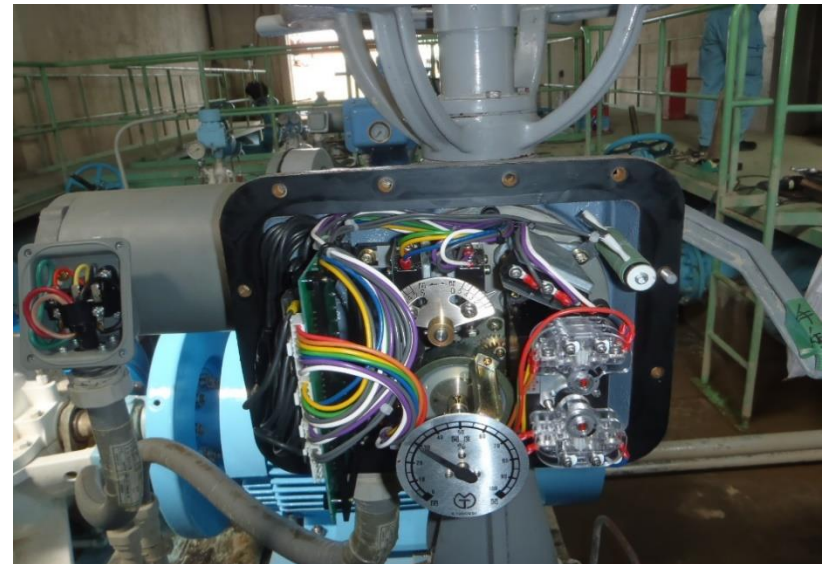
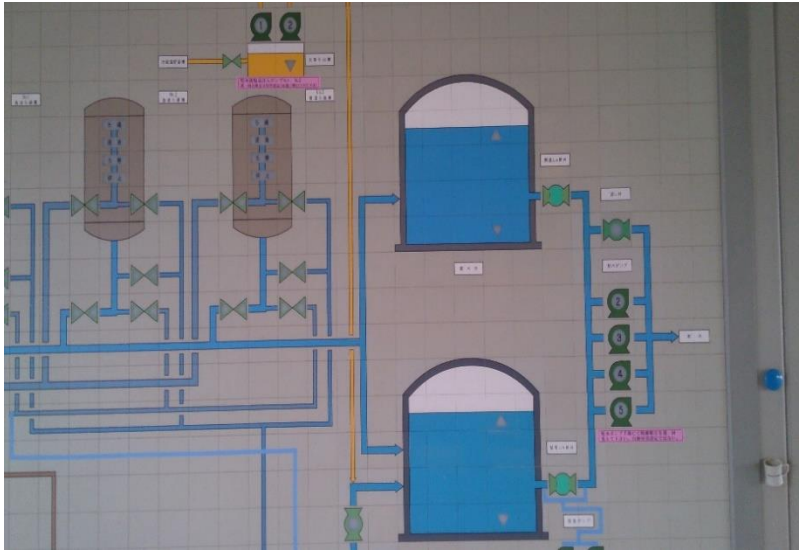
相野谷浄水場
(7400軒断水)



浄水場の状況



浄水場の状況



片付けゴミ排出状況 中心市街地(市役所入口付近)



廃棄物の状況

災害廃棄物(水害ゴミ)

住家等の浸水被害により、市内で大量の災害廃棄物が発生した。
 また、災害廃棄物の分別等を行うために、一次仮置き場を13箇所(市内10箇所, **市外3箇所**)に設置

災害廃棄物の総発生量

	廃棄物 (避難所を除く)	避難所等からの 廃棄物	災害廃棄物 総発生量
ごみ	52,494t	23t	52,517t
し尿	—	67kL	67kL



農業被害の状況 (市の把握分)

被害額合計 62.3億円

- ・ 農作物、保管米等・・・約17億円
- ・ 畜産物・・・・・・・・約3千万円
- ・ 農業用機械・・・・・・・・約30億円
- ・ 農地、農業施設等被害
及び復旧費・・・・・・・・約15億円

被害面積 1,406 ha



浸水した水田

砂に埋もれた畑



農道

防災意識社会の実現への 取り組み



鬼怒川緊急対策プロジェクト(ハード面)

平成27年9月関東・東北豪雨で大きな被害を受けた鬼怒川下流域
国、茨城県、鬼怒川下流部の7つの市町が主体

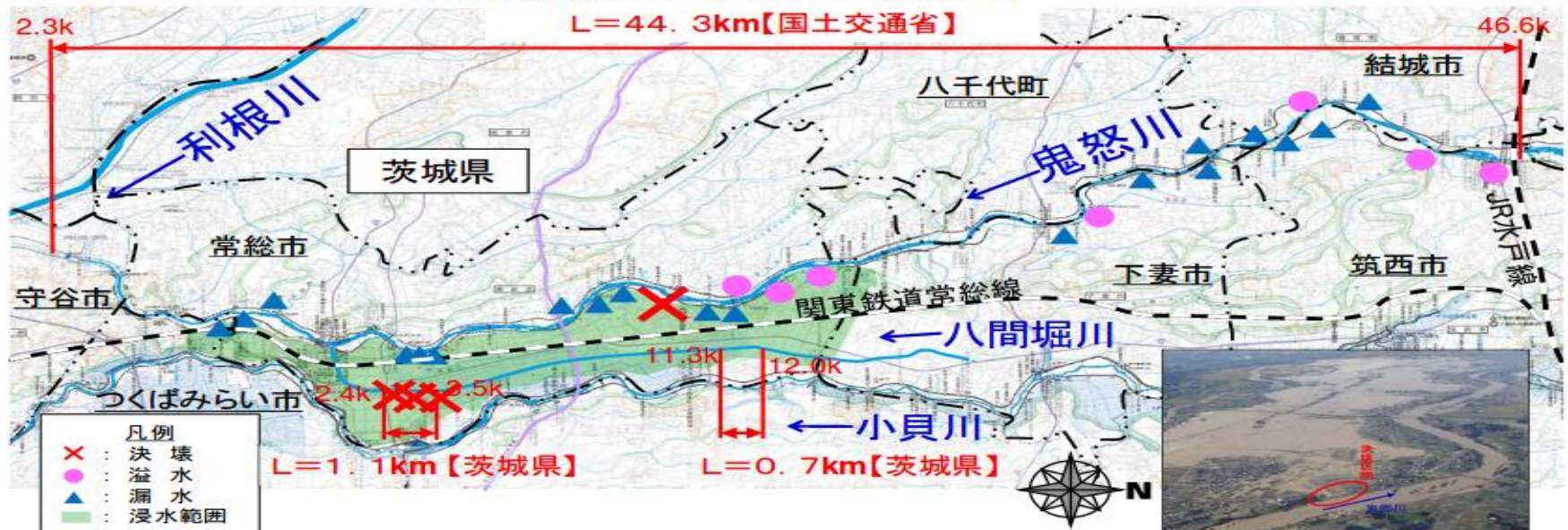
ハード・ソフトを一体化した緊急的な治水対策を実施

○国土交通省 関東地方整備局 ○茨城県

○結城市 ○下妻市 ○常総市 ○守谷市 ○筑西市 ○つくばみらい市 ○八千代町

「平成27年9月関東・東北豪雨」の再度災害防止のため、決壊した堤防などの復旧、堤防のかさ上げや拡幅、洪水時の水位を下げるための河道掘削などの河川改修を緊急的・集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

鬼怒川緊急対策プロジェクト対象区間



鬼怒川決壊地点の堤防整備経過

堤防決壊後、すぐに緊急復旧工事を行い、着手から2週間で応急復旧が完了しました。

本復旧工事については、翌年1月から着手し、出水期前の5月末日に堤防が完成しました。



検証委員会を設置し、市の水害対策を検証



◆ 水害時の災害対応

- ・広域避難の重要性と近隣市町との連携の必要性
- ・事前に災害を想定した対応計画作成の必要性（地域防災計画等）



広域避難計画

◆ 災害情報の伝達・共有

- ・様々な情報伝達手段の必要性
- ・県災害対策本部などの防災関係機関との情報共有の必要性



情報伝達手段
の多様化

◆ 住民の防災意識

- ・過去の経験等が逆に避難しない判断に影響（正常性バイアスの働き）
- ・住民向けの防災訓練や防災教育の必要性



防災教育日本一
への取組
マイ・タイムライン

大規模水害時 広域避難の協定締結

鬼怒川・小貝川下流域の13市町(減災対策協議会設立)において、水害時に協定市町の住民が広域避難するために必要な事項を定めた「大規模水害時の広域避難に関する協定」を締結し、水害時に備えて自治体同士で協力し合っています。



＜協定締結市町一覧＞

常総市・古河市・結城市・龍ヶ崎市・下妻市・
取手市・つくば市・守谷市・筑西市・坂東市・
つくばみらい市・八千代町・利根町



災害対策本部運営訓練



⇒ つくばみらい市へ

避難所運営訓練



避難所開設訓練



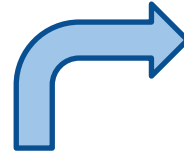
⇒ つくば市へ

避難所運営訓練



災害情報伝達システムの整備

- 防災行政無線
- 防災ラジオ
- 避難所開設状況アプリ
- 登録制メール配信
- エリアメール
- SNS連携



Twitter・Facebook・LINE・YAHOO！防災

◆ **災害情報の伝達・共有**

・ **様々な情報伝達手段の必要性**

洪水時避難の”ジブンゴト化”を促進する「避難行動促進ツール」

●水害リスクの「ジブンゴト化」を推進 ●迅速かつ的確な避難行動を促す ●常総市をフィールドに構築

★ 住民へ避難のきっかけをつくり、ジブンゴトとして捉えて頂くために、首長からのメッセージ動画を配信

- 常総市内において現在地を送信することで、鬼怒川・小貝川・八間堀川が氾濫した場合の浸水の有無や、浸水が及ぶ河川を特定できます。
- 浸水深だけでなく、浸水継続時間や家屋倒壊等氾濫想定区域の有無も確認できます。
- 建物状況を入力することで、水平避難または屋内安全確保などの避難行動の目安を確認できます。
- 洪水時には、常総市内の避難所の混雑状況をリアルタイムで確認できるサイト（VACAN）も閲覧できます。

★首長から緊急のメッセージを配信

(画面操作イメージ)

GPS情報の取得・送信

浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域の有無も確認

危険度詳細情報

鬼怒川があふれた場合
 浸水深: 0.5から3.0メートル未満
 浸水継続時間: 3日程度
 家屋倒壊区域: 該当しません。

鬼怒川の避難情報判定
 今いる場所が安全か判定する場合はボタンをクリックしてください。

避難情報判定

他河川の詳細情報

他河川の詳細な情報を知りたい場合は、知りたい河川名のボタンをクリックしてください。

小貝川

八間堀川

今いる建物の階数確認

今いる場所が安全か判定します。今いる建物の階数はどれですか？

1階建て

2階建て

3階建て以上

今いる建物の構造確認

今いる建物の構造はどれですか？

戸建て

戸建て以外

避難情報判定結果

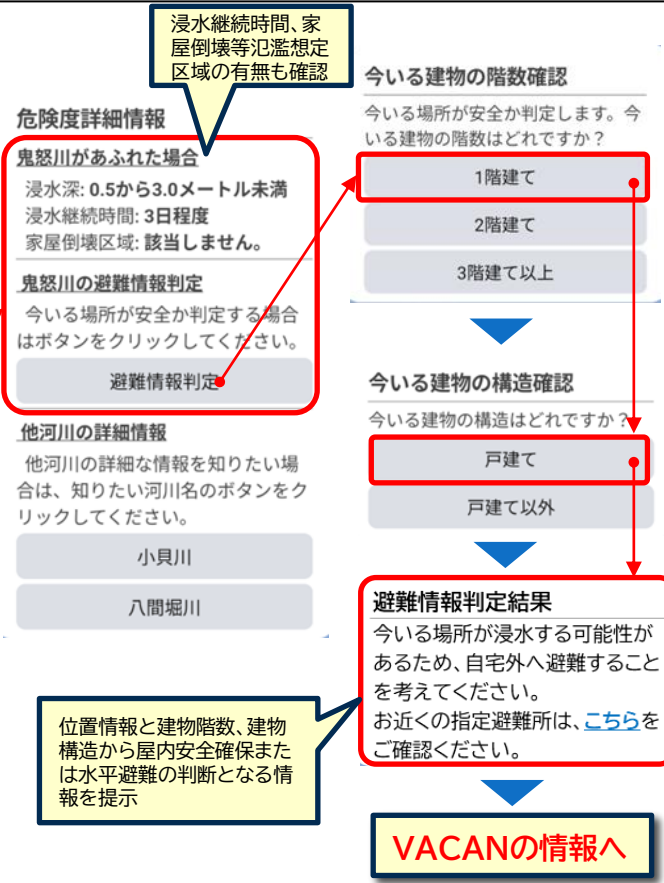
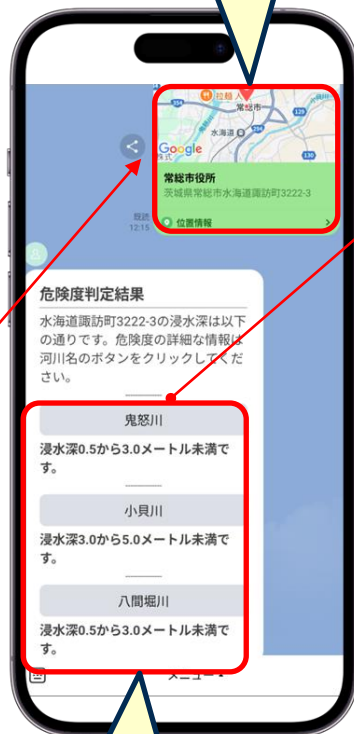
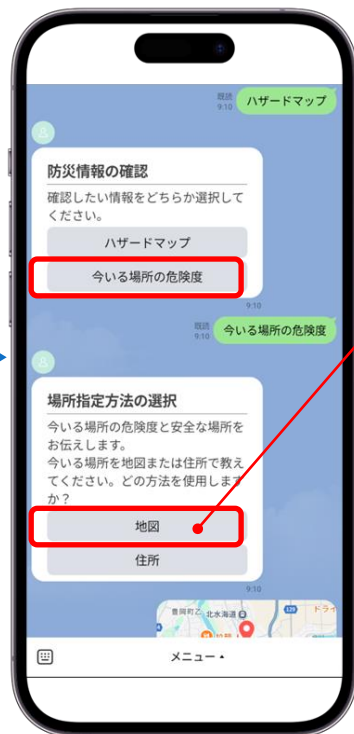
今いる場所が浸水する可能性があるため、自宅外へ避難することを考えてください。
 お近くの指定避難所は、[こちら](#)をご確認ください。

VACANの情報へ

位置情報と建物階数、建物構造から屋内安全確保または水平避難の判断となる情報を提示

3河川の浸水深を提示

(配信イメージ)



住民によるタイムラインの推進

◆住民の防災意識

- ・過去の経験等が逆に避難しない判断に影響(正常性バイアスの働き)
- ・住民向けの防災訓練や防災教育の必要性



みんなでタイムラインプロジェクト

住民一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「自分の逃げ方」を手に入れることを目的とした、「みんなでタイムラインプロジェクト」という先駆的な取り組みのモデル地区に常総市が選ばれ、住民参加の検討会を平成28年度から始めています。全国初の取り組みとして、市内の若宮戸と根新田の2地区において、『マイ・タイムライン検討会』を実施し、参加した住民自身のマイ・タイムラインが作成されました。

これらの過程を取りまとめた記録集が作成され、下館河川事務所HPで公開されています。

マイ・タイムラインとは…

別紙1

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

3日前	国	市	住民等
			テレビの天気予報を注意。 ハザードマップで避難所を確認!
			非常持出袋の準備 足りない物を買出し! 川の水位をインターネットで確認。
	洪水予報	避難準備	おじいちゃんと一緒に 早めの避難開始!
	洪水予報	避難勧告	避難所に避難完了
氾濫発生			

マイ・タイムラインの検討の過程で…

- ① リスクを認識できる
 - 自分の家が浸水してしまう
 - 避難所まで遠い など
- ② 逃げるタイミングがわかる
 - いつ逃げる?
 - 誰と逃げる?
 - 危険な場所をよけて逃げるには?
- ③ コミュニケーションの輪が広がる
 - 検討会での意見交換などで、知り合いになる
 - ご近所とのつながりが強く、太くなる

マイ・タイムラインができると…

- ① 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ② 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 [水防災意識社会]の再構築を目指します。

常総市のモデル地区におけるマイ・タイムライン検討会

別紙2

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めます。

検討会の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- 過去の洪水を知る
- 地形の特徴を知る
- 水害リスクを知る

ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

- 洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- タイムラインの考え方を知る
- 洪水時の自らの行動を想定

ステップ3 マイ・タイムラインの作成

- 一人ひとりのタイムラインを作成

これで、逃げるタイミングがわかったわ!

モデル地区

今年度は、**若宮戸地区**、**根新田地区**をモデル地区として、検討会を進めます。

若宮戸地区マイ・タイムライン検討会
根新田地区マイ・タイムライン検討会

学識者

- 筑波大学システム情報系社会学域 川島宏一 教授
- 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 地球変動適応科学研究機関 伊藤昌司 教授・機関長
- 筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 [水防災意識社会]の再構築を目指します。



封筒をあけると・・・
下記の教材がはいっています



※住民が水災害に関する知識を得る

◆住民の防災意識

・防災教育の必要性



はじめに確認しましょう！

- ① マイ・タイムライン作成のためのチェックシート
- ② 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！(資料1)
- ③ 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！(資料2)
- ④ きみだけの「マイ・タイムライン」をつくってみよう！！(シール付き)
- ⑤ みんなでつくろう！マイ・タイムライン
～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
- ⑥ ご自宅に戻ったらみなおしてみよう

防災教育日本一の 実現に向けた 小中学校での防災教育

みんな なかよし
あかるい子
つよい 心と体で
たくましい子
はじめに 学びあう
かしこい子

みんなで協力し合い
下級生の手本になれるクラス
目標をもって
みんなで成長できるクラス
意見を伝え合い
学力を身に付けられるクラス



水害以降、毎年9月初旬(9月10日「常総市防災の日」を制定)に、市内小中学校一斉防災教育を実施し、工夫し充実した防災教育・訓練を行っています。

「マイタイムラインづくり」、「クロスロード」、「ワークショップ」、「防災マップづくり」などを行い、防災に関する基礎的な知識だけでなく、自ら考え行動し、地域で助け合う心を学んでいます。

今後も防災教育・訓練の取り組みを継続し、子どもたちが自発的・能動的に防災に取り組むことができるよう改善を行い、「防災教育日本一」の実現を目指します。



マイ・タイムライン(小学生)

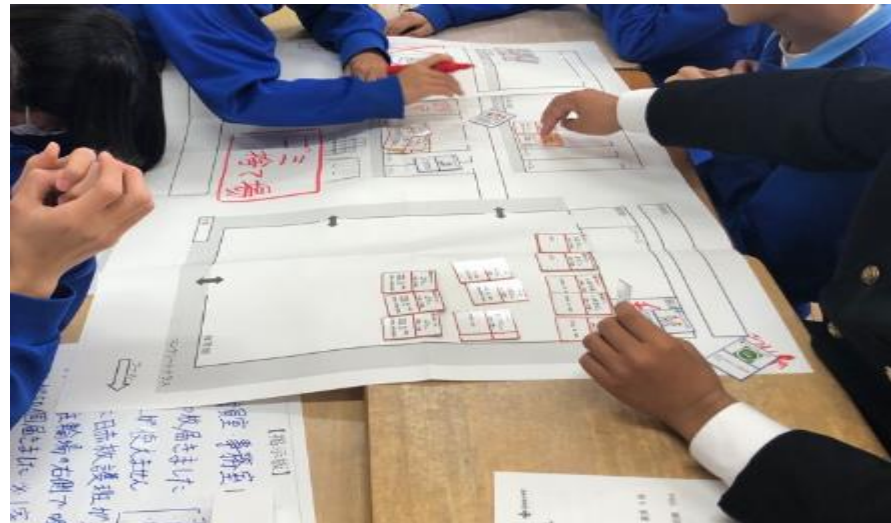


マイ・タイムライン(中学生)

防災腹話術



避難所体験



クロスロード



防災学習(地震)



「楽しんで、競い合って身体で覚える」ことをテーマに、災害時の自助・共助，災害後の復旧・復興を想定し，スポーツとして体に身につけ，もしもの時に備えるプログラムです。

○キャタピラエスケープ



○レスキュータイムアタック



○防災知識トレーニング



○キャットサイクルレース



いつ起こるともわからない自然災害に備え、キャンプ体験を通じて「楽しみながら防災に備える」「生き抜く力を身に付ける」ことを目的とする。

○放水体験



○防災ヘリ



○消火体験



○バケツリレー



○はしご車

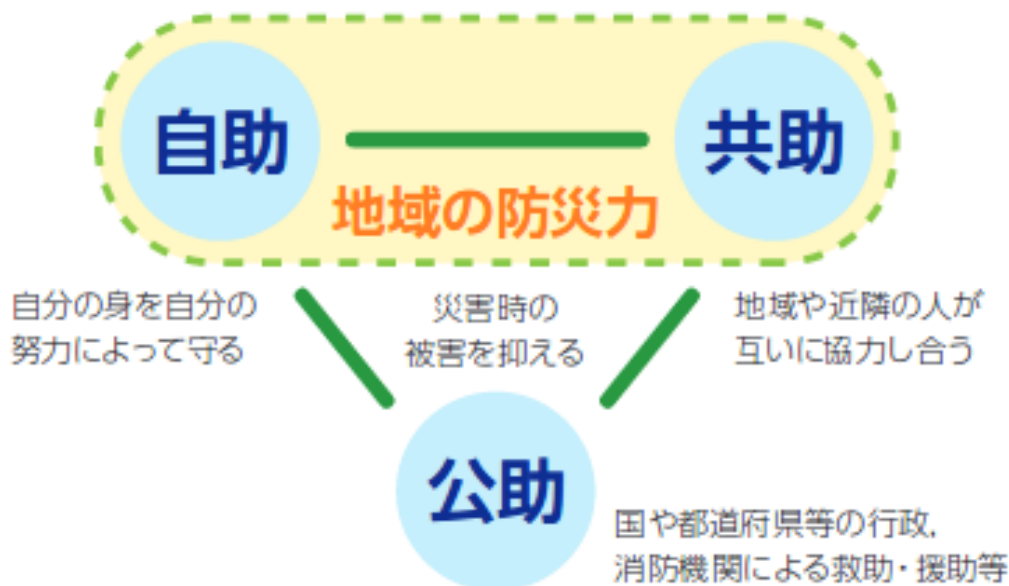


自主防災組織の強化

地域の防災力を高めるには、自分の身を自分の努力で守る(自助)と、地域や近所の人々が協力して防災活動に取り組む(共助)が不可欠です。

市では、災害による被害を最小限にするために、市内全地区に自主防災組織の結成を目標に掲げ、自主防災組織の結成を促しています。また、組織結成支援や防災活動のアドバイス、活動を継続するための補助事業を行っています。

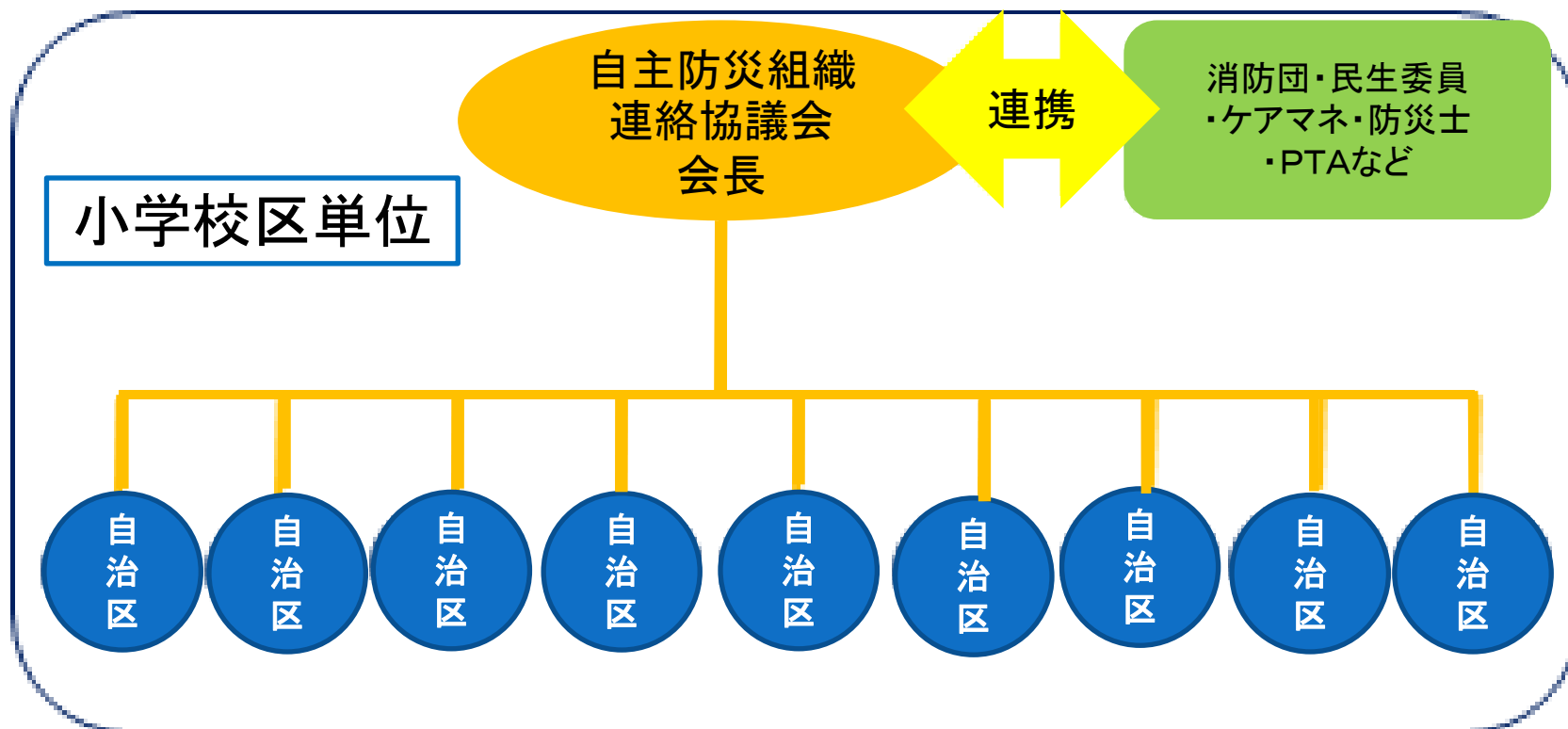
※自主防災組織の結成及び活動に対し、予算の範囲内で補助金が交付されます。



(茨城県地域防災力強化事業より)



常総市が目指す自主防災組織とは？



- ①災害時の迅速な連絡体制確立
- ②発災初期の地域防災力強化
- ③避難行動要支援者の安全確保

令和3年度から結成・活動

○地域（自主防災組織）による安否確認体制の構築

- ・水害で逃げ遅れ者が多数発生してしまった反省を踏まえ、障害者、高齢者などの要支援者の安否確認体制の構築を進めている。

取組の流れ

○地域に支援が必要な人がいることを知ってもらうため、地域住民、要配慮者を 集め会議を開催 NHK地域ミーティング <https://www.nhk.or.jp/mito/lreport/article/000/81/>

※NHK水戸放送局HPから



○市役所が作成した要支援者名簿を基に、地域で支援する対象者を絞り込み、災害時の安否確認の体制図を作成



○支援が必要な方ひとりひとりの避難計画（個別避難計画）の作成

避難行動要支援者対策

○ 台風による洪水を対象とし、避難指示等発令に着目した常総市からつくば市への広域避難訓練を実施した。

また、同地区在住の避難行動要支援者の方にも訓練に参加していただき、個別避難計画の実効性を確認及び計画の更新を実施した。

【開催日】 令和7年10月11日(日)9時30分～11時30分

【訓練対象地区】 常総市三妻地区

【訓練会場】 豊里柔剣道場：つくば市今鹿島4262

【訓練内容】

9時30分 避難指示発令(常総市三妻地区)防災行政無線
広域避難開始:対象地区(常総市三妻地区約60名参加)
* 車移動

9時30分～ 避難所受け入れ開始
避難所到着後・・・順次、避難所に避難し、受付及び避難所設営を実施
○受付は、実災害時担当部署が対応
○受付後に、避難者が協力し間仕切りテント及びエアベッドの設営を行う(設営補助は、職員及び防災士が担当)
○避難行動要支援者へのヒアリング(避難経路の確認や計画更新について)

11時15分～ 避難所設営終了
警察挨拶及び講評



外国人の水防災意識向上を目的とし、市内在住の外国人を対象にマイ・タイムラインの作成講習会を実施



介護予防教室で、マイ・タイムライン作成講習会を実施し、自分の環境に合った逃げ方を作成



地域防災力の強化(防災士の育成)

市では、災害に強いまちづくりを進めるため、地域の防災リーダーとなる防災士(防災の知識・技術を習得したことを認証された人:日本防災士機構)の養成を促進するために、防災士資格取得にかかる受講料や登録料などの費用の全額を補助しています。

また、市職員についても、「職員研修」の一環として、防災士資格取得を勧めています。

なお、資格を取得した住民及び市職員数は計260名います。(令和7年1月現在)

平成30年9月に「常総市防災士連絡協議会」を設立し、地域の防災力を向上させるとともに自主防災組織結成促進やマイ・タイムライン普及のための講師をしています。



スキルアップ研修 (抜粋)

【常総市防災士連絡協議会】県外研修を実施しました

県外制になって初めての県外研修を令和5年8月25日に実施しました。

今回は防災体験学習として「そのエリア東京」東京臨海に防災公園（東京湾下地域の防災体験が出来る学習施設）で、地震発生後 72 時間の体験学習ツアーや震災に関する展示・学習が主眼）で参加者はこれからの活動で活かすべく真剣に説明に聞き入っていました。今後もスキルアップに努めていきたいと思えます。



出発地の受付風景



参加者一同で先ずは施設前で記念撮影



体験学習ツアー先の概要説明



12月の午後6時の設定で少し暗い中で片手にタブレットを片手に体験実施



展示資料：緊急時対応自立トイレ



展示資料：東京都大震災時の避難用品

【常総市防災士連絡協議会】県外研修を実施しました

県外制になって二回目の県外研修を令和5年8月26日に実施しました。

今回は防災体験学習として「神奈川消防センター」で消火器の操作方法、火災時の避難、避難場による震害体験、被災体験等を全員が真剣に見聞き体験をしてきました。今後も身近なところでスキルアップを図り研修活動の立案と実施に努めていきたいと思えます。



参加者一同で先ずは施設前で記念撮影



避難機で震度7を全員で体験(終わっても体が揺れて?)



VRでの震害体験

消火器の操作方法 (代表で4名のみ)

自治区・自主防災組織への出前研修（抜粋）

【常総市防災士連絡協議会活動報告】

大生公民館で大生母の会へマイタイムライン研修

大生母の会からの依頼で10月21日(土)の午後1時から3時までマイタイムライン研修を開催しました。25名程の会員の皆さんが2時間真剣に研修を受講していただきました。研修では時間中にマイタイムラインを作成させることが目的でなく、今年作成したマイタイムラインを参考に、ご家族の方と話し合いながら各家庭の実情を加味して完成度の高い明日のマイタイムラインの作成と、普段会話に出てこない防災に関する話し合いのきっかけにしたいとお話ししながら進めました。



研修は大生母の会会長のご挨拶



大生母の会内に38ページのA4ワーキングシートを作成し、約二時間でマイタイムラインの作り方を完成させ、ご家族で話し合ってもらいました。



先型川と大生公民館の位置関係図！

先型川との位置関係図と、縦軸の幅の違う平成27年の関東東北豪雨での浸水時の想定写真と国土地理院の地図のツールを使って作成した比較用のPDF例

皆さんもマイタイムライン（人ひとりの防災行動計画）を作成してみませんか？自然災害から自分の命を守る備えと行動が「真動」への近道になります。常総市防災士連絡協議会の「マイタイムラインリーダー」がお手伝いさせていただきます。一緒に防災について考えませんか？

ご質問・ご要望等ございましたら下記までご連絡ください。
 ○常総市防災危機管理課 TEL: 0297-23-2111(代) 内線 2210

【常総市防災士連絡協議会活動報告】

東町自主防災組織へのマイタイムライン講習会を開催！

開催日時: 2024年2月11日(日) 午前10時から12時まで

開催場所: 常総市東町東横通生涯センター

開催者: 東町自主防災組織委員

開催内容: 東町自主防災組織委員長からの挨拶で「水害とマイタイムライン作成」を中心に行いました。

講習会の進め方としては参加者を四つに分け、各組には常総市防災士連絡協議会からのサポーターを配置して参加者の進捗確認とフォローを行いながら進めました。先、今日の講習会には東町の自主防災組織からも委員長と副委員長に出席していただき、マイタイムライン講習会の状況をお話ししていただきました。

凡そ2時間の講習会になりましたが、終始真剣にマイタイムラインの作成に取り組んでいただきました。

また、アンケート結果からもこの様な講習会を繰り返し開催の要望が湧いて来ると話し合う機会を設けていきたい等の水防意識の向上に繋がった講習会になりました。



先ず常総市防災士連絡協議会飯田会長の挨拶と講習会の趣意紹介からスタート！



常総市の現状と東町の位置が提供から講習会に入り、平成27年の災害時の振り返りも！



参加者の皆さんも真剣に聴講して頂きました。マイタイムライン作成の様子も！



防災士も真剣です！貴重な意見や質問にも一緒に考えて課題に入ります。マイタイムライン作成の様子も！



常総市では防災対策で会委員候補にマイタイムラインの講習と作成が関わっています。

地区長・自主防災組織委員の皆さん！

私たち常総市防災士連絡協議会委員と一緒にマイタイムライン講習会を開催し、皆さんが！

ご質問・ご要望等ございましたら下記までご連絡ください。お待ちしております。(入会ご希望の防災士の方も下記へ！)

○常総市防災危機管理課
 TEL: 0297-23-2111(代) 内線 2210



このメンバーで取り組んでいます！

小学校への出前研修（抜粋）

【常総市防災士連絡協議会活動報告】三妻小でマイ・タイムライン

防災危機管理課からの依頼で9月8日(水)の午前中に三妻小の5年生と6年生を対象にマイ・タイムライン研修を防災士連絡協議会4名で行いました。今回は時間の制約があつてマイ・タイムラインには少し無理が多くと判明し、「**マイ・タイムラインが保護者のための避難のための**」にフォーカスしました。生徒さんたちも三妻小のすぐ近くに危険地帯があることから、興味熱心にマイ・タイムライン研修を受けていました。



今回使用したのは三妻小の教室で事前に防災士連協のHPからプリントアウトして置いていたキーボードを使っての研修でした。



各小所帯のタブレット端末を各小のホームページにアクセスしてマップを開き、位置情報と浸水予測などで確認しました！



各自の進捗に差が出ないよう参加した防災士全員でサポートしながらの研修風景です。



生徒さんに質問したら「ずばり来て「ず」しい感じしてしまつてのン！さすが三妻小の生徒さんです。

皆さんマイ・タイムライン(一人ひとりの防災行動計画)を作成してみませんか？自然災害から守る備えと行動が救助への近道になります。常総市防災士連絡協議会の「マイ・タイムライン」お手伝いさせていただきます。一緒に作ってみませんか？ご質問・ご要望等ございましたら下記までご連絡ください。
◎常総市防災危機管理課 TEL: 0297-23-2111(代) 内線 2210

【常総市防災士連絡協議会活動報告】

豊田小でマイ・タイムライン研修会を担当しました！

9月15日(金)に、社会福祉協議会豊田支部と豊田小学校との併催で、小中生にも防災学習を「みんなの防災学習」が実施されました。小学一年生から四年生までの約50名と父兄の方々が、防災士連協関係の方々も参加して「マイ・タイムライン」を参加の防災士連絡協議会が講師を担当しての学習となりました。「**自分や家族が学校から帰る際の危険地帯はどこか**」と研修熱心に学習に参加されました。



小学校体育館への案内看板も研修に参加される父兄の方です。



防災士連絡協議会豊田支部の研修室にマイ・タイムライン研修開始を掲げ！



ふじJOSO 404が会場提供にバックアップされた内容の研修です。



豊田小学校を中心に防災関係や土地の高低が防災士連協の地図とツールを持ってあそびあそびしたPPTでの説明風景！

ご質問・ご要望等ございましたら下記までご連絡ください。
◎常総市防災危機管理課 TEL: 0297-23-2111(代) 内線 2210

さいごいじ
災害時に役に立つ！

みんなのための ぼうさいがくしゅう 防災学習

9月11日 水曜日 13:35~15:30

- 会場 豊田小学校 体育館
- 駐車場 校庭 ※雨天時のお阿彌神社・旧JA
- 内容 防災士のお話と避難所設置、引渡し訓練
- 持ち物 スリッパ・水筒
- その他 お家の方も一緒にご参加ください。
※豊田地区在住のどなたでもご参加いただけます。

この事業はふじ引継共同基金の協力を受けて実施します。
【主催】社会福祉協議会豊田支部 【お問い合わせ】 0297-30-8780 (月～金曜日 8:30～17:15)

腹話術



防災かるた



<p>あ</p>	<p>あ んしんは ひごろのよういで ふえていく</p> <p>If you prepare for disaster prevention on a daily basis, you will feel more secure.</p>
<p>へ</p>	<p>へ ヘルメット おちるものから あたまをまもる</p> <p>A helmet protects your head from falling objects.</p>
<p>ふ</p>	<p>ふ っきゅうとは うごかないのが ななること</p> <p>Fukkyu(Restoration) means when something that didn't work gets fixed and works again.</p>

その他の取り組み

- 次第
- 1 両河川の水位
 - 2 各部等からの現況報告
 - 3 今後の行動方針案
 - 4 市長指示

交通
関東地方整備局

福祉
長

会計
管理

屋外の非常用電源周辺に2mの防水壁



常総市役所



庁舎出入口に浸水対策の
止水板を整備
(緊急時に止水板を設置)



地域防災計画には、「**災対本部を本庁に置く**」のみ記載。
 設置場所(大会議室)及び各班のレイアウト(リゾン含む)を
 明確化。地図・電話・電力増設、TVアンテナ線等を整備。
 また、「**職員災害時初動対応マニュアル**」を作成。

ハザードマップ型ホワイトボード(1/1万)



災害対策本部レイアウト



- ・事前に災害を想定した対応計画作成の必要性(地域防災計画等)
- ・県災害対策本部などの防災関係機関との情報共有の必要性

アグリサイエンスバレー常総



令和5年4月28日開業 道の駅常総

開業から1年で来場者が200万人を突破しました！！



防災先進まちづくり宣言！

～災害支援への感謝を力に変えて～

防 災

市 民

行 政

絆

「防災先進都市」

